FREE ご自由にお持ちください。

国際親善総合病院 病院だより

NO. 242 Spring 2015. 4

再整備計画について③

病院長就任のご挨拶

新任医師のご紹介
The introduction of new doctors

病院のできごと
春 夏 秋 冬

管理栄養士の シリーズ第４回
メディカルレシピ
ひじきのバンバンジーサラダ

院内を写真でご紹介するシリーズ
冬のステージ

特集 血液浄化・透析センター
快適で安心な治療を受けていただくために

病院の理念
良質な医療の実施
親切な医療の実施
信頼される医療の実施

表紙の絵：金 子 沙奈絵（総務課）

かかりつけ医を持ちましょう

日常的な診療を行ってくれる身近なお医者さんを「かかりつけ医」と呼んでいます。普段の健康管理や日常的な病気の治療の場合は、まずお近くの医院・診療所の「かかりつけ医」を受診しましょう。

「かかりつけ医」が精密検査や入院による治療が必要だと判断した場合には、当院と「かかりつけ医」が連携を取って、皆さんの健康管理をサポートさせていただきますので「かかりつけ医」からの「紹介状」をお持ちください。

当院で必要な検査や急性期の治療が終わり、症状が安定した患者さんにつきましては、お近くの「かかりつけ医」にその後の診療をお願いしています。その際には、担当医から「かかりつけ医」宛の「紹介状」をご用意します。

HOME PAGE

良質で、親切で、信頼される医療の実施

病院長就任のご挨拶

急性期医療と生活支援型医療の両立を目指して

病院長　安藤　暢敏

国際親善総合病院が関内からここ西が岡の地に居を移して、今年で25年になります。地域の皆様に育まれ四半世紀を迎えたこの年に、泉区唯一の総合病院の舵取りを担当することになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

わが国は未曽有の少子高齢化社会に突入しつつあります。全国の65歳以上の高齢化率は25％で、横浜市西部医療圏（西区、保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区、泉区、戸塚区）では22％ですが、その中でも泉区は24・5％と全国レベルの高齢化傾向を示しています。全人口が減少する中で、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる10年後の2025年には、まさに超高齢化社会を迎えます。そこで求められる医療は、これまでの回復を急ぐ急性期医療のみならず、多くの病気を抱えた後期高齢者の患者さんでも、段階的に在宅に戻ることができ地域での生活を続けられるような生活支援型医療との両立です。

このような人口構成の流れの中で、当地での四半世紀を振り返り近未来を考えるときに、想うことは地域医療の原点回帰です。それは「良質で、親切で、信頼される医療の実施」で、これすなわち国際親善総合病院の基本理念です。私たち病院職員は、この基本理念を記したカードをネームタッグに入れ、胸につけて心がけています。国際親善総合病院は現在、隣接地に4階建ての新館棟を建設中で、本年8月には竣工します。引き続き本館棟の改装工事を病棟ごとに3年計画で開始いたします。新館棟には緩和病棟を新設し、高齢患者さんの在宅復帰をサポートする生活支援型医療提供の場として、地域包括ケア病棟の設置も予定しています。

良質で、親切で、信頼される医療を進める上で何よりも大切なものは、患者・医師信頼関係であると思います。信頼関係を築きあげ維持するために、私たち医療者は限られた時間の中でできる限りの説明をします。十分な説明とそれにもとづく同意（インフォームドコンセント）を心掛けます。今日の最先端の医療技術をもってしても、病院を受診すれば病気が治る、症状が軽くなるとは限りません。同じ程度の同じ病気でも、患者さんによって治る方と治らない方がおられます。治る方向へ私たちは全力を尽くします。地域の中核病院として地域住民の方々のご負託にお応えできるよう、総合病院としてさらに進化を続けます。今後ともこれまで同様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

International Goodwill Hospital

国際親善総合病院

再整備計画について③

集中治療室（ICU）をリニューアルいたしました。

平成27年2月5日より再整備工事の一環として集中治療室（以下ICU）の先行工事を行ってまいりました。同月26日横浜市医療安全課による検査を受け使用許可がおり、3月1日より運用を開始いたしました。今回は新しくなったICUのご紹介と新館棟の進捗状況をご報告いたします。

【ICUのご紹介】

当院のICUは、平成3年7月より運営を開始し、現在急性心筋梗塞、脳卒中、大手術の術後の患者さんを対象に、年間約1000名を扱っております。今回、厚生労働省2014年度の診療報酬改定の際に、1ベッド当たりの広さを内法（壁、柱を除く）の測定で15㎡が必要となり、今までの8床を6床にすることが余儀なくされ、基準を満たすためICUの改装を行いました。改装により1ベッド当たりのスペースが広く改善され、緊迫したICUですが、患者さんにはゆったりとした環境が確保されました。また温かみのある木目調の床、やさしい緑色のカーテンなど少しでも和やかに過ごすことができるよう整備いたしました。

【新館棟進捗状況】

2月より鉄骨の組み立てが開始され、現在工程表通り工事は進んでおり無事3月上旬に上棟いたしました。

このあと床コンクリートを打設し、外壁工事（ALC工事）となります。ようやく新館棟の大きさが分かる段階となってきました。

引き続き工事の騒音、振動等でご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

横浜マラソンに救護員として参加しました。

脳神経外科医長
馬渕　一樹

平成27年３月15日に当院の医師１名（馬渕一樹）、看護師２名（伊原崇文・佐川翔一）が、横浜市からの依頼を受け横浜マラソンの救護所の運営を行いました。16カ所の救護所のうち、第３山下橋救護所を担当し、他病院の医師１名（整形外科）、本部スタッフ、ボランティア、救護員、市の救急隊の方々と協力し、大きなトラブルなく無事に完結させることが出来ました。

横浜市で開催される市民フルマラソンの第１回という事もあり、全国から参加する約25000人ランナーは楽しみつつ、一足一足に集中し走っていました。ゴールを目指す彼らを応援し見守りながら、できればゴールしてほしいという思いと、今後の生活も考え無理をしてはいけないという複雑な思いで、半日間の救護業務を行ないました。

今後は、救護所での経験を日常診療の中でも生かしながら、地域の患者様からの信頼を得られるように、日々努力していきたいと考えています。

Yokohama Marathon

特集

快適で安心な治療を受けていただくために

～血液浄化・透析センターのご紹介～

血液浄化・透析センター　センター長　酒井　政司

透析療法とは

この冊子をご覧の皆さまの中には、「腎臓の機能が低下したため透析を受けている。」「糖尿病を長年わずらい、今は透析をしている。」という話をお聞き及んだことがある方もいらっしゃるかもしれません。

「（人工）透析療法」とは、腎臓の機能低下に伴い体内に蓄積する老廃物（尿毒症物質）を体内から除去する治療のことです。

透析療法はおよそ70年の歴史を有しており、1945年に米国で急性腎不全の患者さんに透析治療を行い救命に成功した報告から始まります。

その後、透析技術は確実に進歩していき、「腎不全」はかつての「死の病（やまい）」から、「長期生存が可能な疾患」となりました。40年近く透析を受けながら家で日常生活を続けておられる方や、透析と仕事を頑張って両立しておられる方、今まで腎機能が悪いためにあきらめていた妊娠・出産が透析技術の発展によって可能になるなど、患者さんの幸福に大きく貢献してきました。

また、日本の透析治療成績は世界でもトップレベルであり、同時に、優れた国民皆保険制度があるため、人工透析にかかわる医療費の自己負担は月1万円程度（所得によっては2万円）となっており、「自己負担の少ない良質な医療」を受けられる素晴らしい環境にあると思われます。

「血液浄化・透析センター」開設の経緯

当院では、2011年5月より「血液浄化・透析センター」を開設させて頂きました。透析同時稼働台数が10台あり、慢性腎不全患者さんのみならず、急性腎不全、あるいは透析技術を応用した特殊な急性血液浄化療法が必要な患者さんの治療も行えるようになり、身近で更なる高度な医療をお届けすることが出来るようになりました。

透析療法には大きく分けて血液透析（HD）と腹膜透析（PD）があります。当院では患者さんのそれぞれの生活様式にあった透析療法をご選択して頂いており、当センターに通院ないしは近隣の透析クリニックをご紹介させて頂いております。また、透析クリニックにご紹介後も、入院治療が必要な場合などにはクリニックと連携を取りながら当院で治療をさせて頂いております。

また、腎不全治療のもう一つの治療法である腎臓移植をご希望される患者さんには、近隣の大学病院などにご紹介させて頂いております。

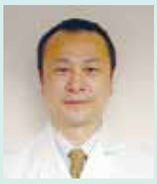
透析医療は日進月歩です。当院の理念である「良質・親切・信頼される医療」を目指して、医師・看護師・臨床工学技士・管理栄養士・社会福祉士からなるチーム医療を実践し、日々努力し様々な取り組みを行っております。

「血液浄化・透析センター」での医療を通じて、地域の皆さまへ少しでも貢献できましたら幸いです。今後ともよろしくお願いします。

Hemodialysis

新任医師のご紹介 The introduction of new doctors

この春から加わる新しい先生をご紹介します。



佐藤 道夫（さとう みちお）
外　科
慶應義塾大学
昭和62年卒

一丸となって頑張ります。
all for the patients!

大平 正典（おおだいら まさのり）
外　科
昭和大学
平成14年卒

早く病院に慣れ皆様の力になりたいと思います。

沖原 正章（おきはら まさあき）
外　科
東京医科大学
平成23年卒

不慣れですが、一生懸命頑張ります。

川浦 範之（かわうら のりゆき）
循環器内科
札幌医科大学
平成12年卒

よろしくお願い申し上げます。

硯川 佳祐（すずりかわ けいすけ）
循環器内科
福井大学
平成25年卒

入局一年目として精一杯、頑張ります。

秋月 裕子（あきづき ゆうこ）
腎臓・高血圧内科
横浜市立大学
平成25年卒

頑張りますので、よろしくお願いします。

毛利 順（もうり じゅん）
産婦人科
岩手医科大学
昭和50年卒

産科が早く復活できるよう努めて参ります。

城野 文武（じょうの ふみたけ）
消化器内科
千葉大学
平成18年卒

内視鏡などでお役に立てるよう頑張ります。

本間 正史（ほんま まさし）
内分泌内科
岩手医科大学
平成11年卒

よろしくお願いします。

三宅 敦（みやけ あつし）
整形外科
慶應義塾大学
平成14年卒

脊椎脊髄が専門です。よろしくお願いします。

鎌田 泰裕（かまた やすひろ）
整形外科
昭和大学
平成24年卒

何でもお気軽にご相談下さい！

楢原 正基（ならはら まさき）
泌尿器科
順天堂大学
平成24年卒

頑張りますので、よろしくお願いします。

渡邉 佳子（わたなべ よしこ）
眼　科
東邦大学
平成23年卒

頑張ります。

東 朋子（ひがし ともこ）
麻酔科
北里大学
平成７年卒

患者さんに寄り添った医療を行います。

岩倉 久幸（いわくら ひさゆき）
麻酔科
横浜市立大学
平成10年卒

チームワークを大切にしたいと思います。

吉田 啓（よしだ あきら）
救急部
広島大学
昭和56年卒

救急の「何でも屋」としてがんばります。

矢ヶ部 浩之（やかべ ひろゆき）　研修医
熊本大学　平成27年卒
誠実な医者になろうと思います。

石川 重史（いしかわ しげふみ）　研修医
東海大学　平成27年卒
頑張って働きますのでよろしくお願い致します。

氏　名（しめい）
担当診療科
卒業大学
卒業年度

４月からの意気込み ……
……

管理栄養士の

れしぴメディカル

Recipe No.04

ひじきのバンバンジーサラダ

材　料（1人前）

★鶏胸肉＝20ｇ　酒 少々
★きゅうり＝30ｇ　★ひじき＝3ｇ

バンバンジーソース

材　料（1人前）

★すりごま＝小さじ1杯　★酢＝大さじ1/2杯　★砂糖＝小さじ1杯
★醤油＝小さじ1杯　★豆板醤＝小さじ1/4杯弱

栄養価　（1人前）

エネルギー	65ｋcal
蛋白質	6.1ｇ
脂質	1.7ｇ
塩分	1.3ｇ
食物繊維	2.0ｇ

作り方

① きゅうり・・千切り
　ひじき　・・水で戻す
② 鶏肉は酒少々をふり、蒸して（又は茹でる）ほぐす。
③ バンバンジーソースの材料を混ぜ合わせる。
④ ①、②をバンバンジーソースであえる。
※ あえてからしばらく置くと味が馴染みます。

便通を整えることで良く知られている食物繊維ですが、その他にも血糖上昇を抑える・コレステロールを低下させる・大腸癌の予防など、身体に良い働きが色々あります。

厚生労働省では、生活習慣病等を予防し、健康な生活を維持するために「野菜類を１日 350 ｇ以上食べましょう！」と掲げていますが、平成24年度の国民栄養調査によると平均摂取量は286.５ｇと目標量に達していません。（年次推移で見てもほぼ横ばいの状態）

不足分の70ｇを補うためには、お浸し小鉢１杯分やトマト（中）1/2個程度をいつもの食事に追加することで350ｇ／日が達成できます。食卓にもう１皿、野菜・海藻・きのこ類の料理を増やしませんか？そこで、食物繊維豊富な“ひじき”を使ったサラダをご紹介します。

栄養科長（管理栄養士）
高澤 康子

掲示板

予定表

健康懇話会　会場：国際親善総合病院　2階講堂

開催日時	テーマ	講師
平成27年４月24日㈮ 15：00～	睡眠時無呼吸症候群について	呼吸器内科部長代理 中田　裕介
５月の健康懇話会は休会とさせていただきます。		
平成27年６月12日㈮ 15：00～	決まり次第お知らせいたします。	皮膚科部長　山田　裕道 皮膚科医師　毛利　忍
平成27年７月10日㈮ 15：00～	脳卒中とリハビリテーションについて	副院長　脳神経外科部長 飯田　秀夫 リハビリテーション科長 岩上　伸一

予定表

しんぜん院外健康教室

開催日時	会場	テーマ	講師
平成27年５月29日㈮ 10：00～	中川地区センター ２階中小会議室	健康寿命について	腎臓・高血圧内科部長 酒井　政司
平成27年10月16日㈮ 10：00～	中川地区センター ２階中小会議室	決まり次第お知らせいたします。	整形外科部長 山下　裕

手作りパン販売　場所／地下１階食堂前　時間／11：00～ 売切れ次第終了

わいわいクラブ　販売予定日

4／16㈭　5／21㈭　6／18㈭

共働舎　販売予定日

4／2㈭　5／8㈮　6／4㈭

国際親善総合病院　病院だより（年４回発行）　2015. 4／第242号　神奈川県横浜市泉区西が岡１-28-1　TEL：045-813-0221（代表）FAX：045-813-7419（総務課）
URL http://shinzen.jp

さまざまな 命のつながり

冬 たいかん

梅　Ume

【職員寮】

山茶花　Sazanka

【病院脇路上】

蕗の薹　Fukinotou

【職員寮】

ビオラ　Viola

【2階中庭】

椿　Tsubaki

【職員寮】

日本医療機能評価機構　ECO 活動推進　敷地内全面禁煙

病院のできごと 1月～3月

春 夏 秋 冬

1月9日㈮　横浜市泉寿荘にて
第11回しんぜん院外健康教室

村井勝病院長による「トイレのことを気にしない暮らしへ」の講演会を横浜市泉寿荘では初めて開催。130名の方にご参加いただき、“治療中なのでとても参考になった”“健康維持に役立てたい”等のご感想をいただきました。

1月22日㈭・2月4日㈬　病院の仕事を見学！
中学生職場体験学習

文部科学省が推進しているキャリア学習の一環として近隣中学校（中和田中学９名・岡津中学10名・領家中学４名）の生徒さんの職場体験学習を受け入れました。当日は薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士の仕事現場を見学後、医師と看護師が同席し様々な質問を受けました。この体験が進路を考えるきっかけとなり、将来医療人として一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

3月16日㈪　元禄型地震を想定
防災訓練

今回の訓練は、元禄型地震を想定（震度６以上）して災害対策本部の設営、初動対応、入院患者状況報告、被害状況報告、職員参集状況報告の情報伝達、アクションカードに基づいた行動確認に加え、トリアージポスト（負傷した方の重症度や緊急度などをいち早く判断する場所）の設置訓練を実施しました。